



要 望 書

南砺市平野部における 2 署所体制について

平素は、南砺市消防団の活動等に格別のご配慮とご支援を賜り心からお礼申し上げます。

旧 8 町村の消防団が一つになってから 7 年経過し南砺市消防団は、一致団結して消防団活動を行っています。しかし、防災の両輪の一方であります署所については、署所再編基本方針策定から 4 年が経過していますが、いまだに署所再編についての結論がでていない現状であります。

このような防災体制で、平成 20 年 7 月 28 日に南砺市で豪雨災害が発生し甚大な被害を生じ、今年に入って 3 月 11 日の東日本大震災で東日本に戦後最大の被害を生じています。さらに 7 月下旬に新潟県、福島県で記録的豪雨による自然災害も発生しています。

今全国のどこで豪雨、地震等による自然災害が発生してもおかしくない状況にあるにもかかわらず、署所の再編について、まったく協議が進んでいないことに南砺市消防団は、非常に憂慮しています。

つきましては、南砺市の防災体制の早急な確立のため、下記について早期に対策を講じられますよう強く要望するものであります。

なお、これらの要望は、平成 23 年 7 月 28 日に井波地域で開催した富山県消防協会南砺支部第 2 回役員会で協議し、全会一致で議決したものです。

記

1 平野部の 2 署所体制の確立

現在の出張所では、出動が重なった場合は、次の出動ができず地域の安全安心が保たれていないので、第 2 の出動が可能な 2 署所体制の早期実現を要望します。

2 消防団の装備品の充実

消防団員の安全確保のために、消防装備品の充実を要望します。

3 災害に強い南砺市を目指すための防災センターの建設

- (1) 少子高齢化に対応するために、自助、共助が重要になりますので、自主防災組織を教育訓練するための施設を要望します。
- (2) 高度な消防技術を持った消防団員を育てるための施設を要望します。
- (3) 災害時の非常食、活動資機材を備蓄するための施設を要望します。

以上

平成 23 年 8 月 4 日

南砺市長 田中幹夫 様

南砺市消防団
団長 齊藤隆夫

